

## いわき農林事務所ニュース

2008年 2月号



### ◎活動状況

- ・ [第1回女性農業者育成セミナー開催](#)
- ・ [森林整備交流会開催](#)
- ・

### ◎トピックス

- ・ [いわき市中央卸売市場初市式開催](#)
- ・ [平成20年平木材市場「初市」](#)
- ・ [地域研究セミナー開催](#)

## 活動状況

### ○第1回女性農業者育成セミナーを開催しました

1月24日（木）、第1回女性農業者育成セミナーを県いわき合同庁舎内会議室で開催しました。

直売・加工等の起業化への取り組みは、いわき地域でもますます活発になり、多くの農業者が活躍しています。しかし、直売所の数が増えた結果、今まで以上にそれぞれの直売所にお客さまを魅了する特長が必要であり、多くの直売所の抱える課題の一つに消費者ニーズにあった野菜の品揃えや品種の選び方があります。

そこで、第1回目のセミナーは、郡山市で多品目の野菜を栽培し、自らも直売所を運営している鈴木光一氏を講師に「直売所運営の課題を解決して、さらにステップアップ」と題して講演会を開催しました。今年の新品種や注目品種、パッケージの工夫や年間作付け計画などの講演していただきました。野菜の品種の多さや様々な販売の工夫に驚くとともに、自らの経営にも取り入れようと熱心な質疑応答がされました。第2回目は「元気な直売所（買い場）づくりはお知らせ（POP・広告）から」と題して、買う場所づくりのセミナーを開催します。

今後、受講者の方々がその地域にあったアグリビジネスを展開して、男女ともにいきいきと活躍し、農村地域がますます元気になることを期待しています。



講演の様子

### ○森林整備交流会を開催しました

森林整備に対する理解と推進を図るため、1月26日（土）、いわき農林事務所主催による「水源地域の森林整備交流会」を三和町上三坂地内の森林において開催したところ、森林ボランティア、地域住民などおよそ20名の参加がありました。はじめに、森林整備を体験していただくため、スギ林で間伐体験を実施しました。現地は標高がおよそ650mで、数日前の降雪のためスギの木が凍っており、雪の冷たさとノコギリでの間伐は大変な作業となりましたが、凍った木を伐るのは初めてという方が多く、みなさん積極的に作業を行っていました。



間伐体験の様子

昼食後、事務所職員が森林環境税の概要といわき地方での取り組み、今回見学場所となっている森林について説明しました。参加者からは、森林の手入れや地域材の特徴などについて質問が出されました。また、事務所職員や地元の方々から、森林の手入れには手間がかかること、大切に育てた森林でも材となったときには価格が安いことなどを聞き、驚いた様子でした。

午後からは、三和町の松本公男さんの説明を聞きながら、森林環境税を活用して間伐を実施した38年生のスギ林の見学を行い、森林が持つ働きや森林環境税の役割について学びました。

## トピックス

いわき市中央卸売市場の初市式は、花き部が1月4日（金）、水産物部、青果部及び関連事業者が5日（土）に行われ、市場内は初競りの活気にあふれました。

4日の花き部の初市式では、12月に開催された審査会において、福島県知事賞に輝いた南相馬市の根本雄二さん等に表彰状が授与されました。今年度は、梅雨明け以降に記録的な猛暑が続き、シクラメン等の鉢物にとって栽培が難しい年でしたが、株の締まりや開花揃いの良い、ボリュームのある仕上がりの作品が多く、レベルの高い出品の多い中、いわき市からも薄葉丈夫さんと薄葉久長さんの出品したシクラメン2点が入賞し、健闘をみせました。

表彰式後、花き部の初市式が行われ、卸売、仲買等の業者、市・県等関係者などが手締めし、一年の活況が願われました。続いて行われた初セリでは、セリ人や仲卸業者などの威勢よいかげ声の中、次々と花き類が競り落とされました。

5日の水産物部の初市式では、参加者による手締めの後、入荷した鮮魚の競りが行われ、場内に威勢の良い掛け声が響き渡っていました。また、青果部の初市式では、市場の安全と繁栄を願って紅白の餅がまかれ、関係者一同、笑顔にあふれていました。

株式会社平木材市場の平成20年初市が、1月10日（木）にいわき市内郷綴町の同市場で行われました。

初市には、木材関係者ほか約120名が出席し、多数の来賓を代表していわき農林事務所本田久門所長が、初市の乾杯の発声を行いました。

初市には、ケヤキ、スギなどの優良材が磐城森林管理署から多く産出され、通常の市の約3倍の量である素材3,000m<sup>3</sup>、製品1,500m<sup>3</sup>が入荷されました。当日は天候に恵まれ活気に満ちた競り売りにより、磐城森林管理署産出のケヤキ材は、1立方メートル当たり59万円の高値で取引され、木材は完売し、幸先の良い初市となりました。



初市の原木せり開始

今年度第2回目となる地域研究セミナーが1月21日（月）、県林業研究センター主催、磐城流域林業活性化センター共催によりいわき市内郷の報徳苑で開催されました。

林業研究センターでは、今年度から試験研究の成果と取り組み状況を広く発信するため、県内3地域においてテーマを設定し、セミナーを開催することとなりました。浜通り地域では、「ふくしまの木材を見直そう！」をテーマに4つの課題について発表が行われ、会場には、製材業関係者や建築士など約80人が聴講に訪れました。



熱心に聴講する参加者ら

発表では、同研究センターの研究員4名が、県産スギの木材加工や利用技術等について分かり易く説明し、その後質疑応答や意見交換が行われました。会場からは、スギの強度や乾燥コストについての質問や関係機関との連携に関する意見など、活発な意見交換が行われ、有意義なセミナーとなりました。

◀ もどる

すすむ ▶

[ [▲Top](#) | [福島県トップページ](#) | [いわき農林トップページ](#) ]